

図書館だより No.4

令和4年7月
大洲中学校図書館

夏休みが始まります



もうすぐ一学期が終わり、夏休みが始まります。

みなさんは、もう夏休みの予定は決まりましたか。

夏休みは学校に通って来ている時と比べ、どうしても生活が乱れがちです。

自分の話で恐縮ですが、私は休みの日もそうでない日も、朝起きる時間はいつもだいたい同じ時間です。たぶん、小学生の頃からの習慣が身にしみついてしまったのでしょうか。長い夏休み。計画を立てて、有意義な毎日を送って下さいね。



読書感想文コンクール

夏休みといえば、読書感想文ですよ。

ここでは、青少年読書感想文全国コンクールの課題図書を紹介いたします。



江戸のジャーナリスト ^{かつしかほくさい} 葛飾北斎 ^{ちのけいこ} 千野 境子 作

世界に誇る超有名人、浮世絵師・葛飾北斎とはどんな人物か。

『富嶽三十六景』がパスポートに登場するなど、今も人気の北斎。

情報の限られた江戸時代に、広く日本の外へも関心に向け情報収集し、90歳まで絵筆を執った超人北斎の、真の姿をあぶり出したノンフィクション。

<国土社> (TRC ウェブサイトより)



海を見た日 M・G・ヘネシー 作 杉田 ^{ななえ} 七重 訳

それぞれの事情で、養母の家に預けられた3人の子どもたち。

みんながバラバラの方向を向いていて、きちんと向き合うことなく過ごしてきた。そこへ新しく男の子が仲間入りし、その子が恋しがらるママに会せてあげるため、4人で冒険に出かける事になる…

<鈴木出版> (TRC ウェブサイトより)



セカイを科学せよ! 安田 ^{かな} 夏菜

ルーツが日露のミハイル。ルーツが日米の蟲好き転校生・葉奈。ミハイルと葉奈、そして堤中学校科学部の面々は、生物班の存続をかけた学校に活動の成果を示すことに。ミックスルーツの中学生二人が繰り広げる、とってもコメディでバイオロジカル(生物学的)な日々をご覧ください。

<講談社> (講談社 BOOK 倶楽部より)

それでは皆様、健康には十分注意をして、素敵な夏休みにして下さいね。